

# 経営比較分析表／団体全体（令和2年度決算）

岡山県 総社市

【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	2,000	極小規模	1	392
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	85.1	19	2,000	非設置	

## グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和2年度全国平均

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

「③流動比率」について、平成28年度の当該値が著しく高くなっており、当年度の流動負債が例年より少なかったことによるものです。

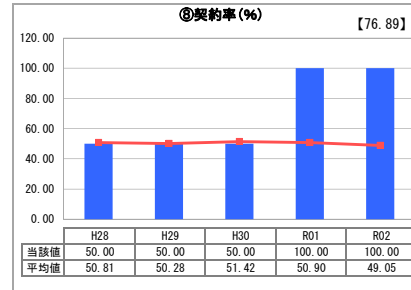
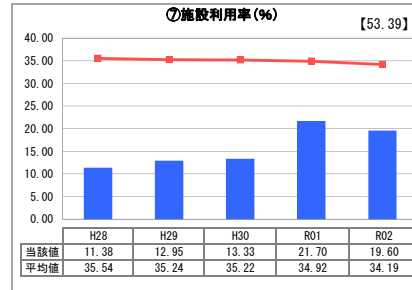
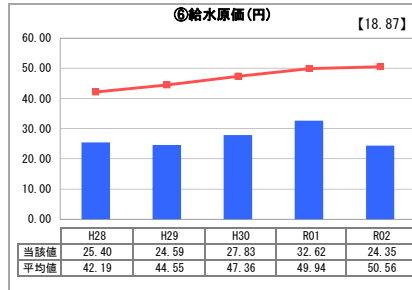
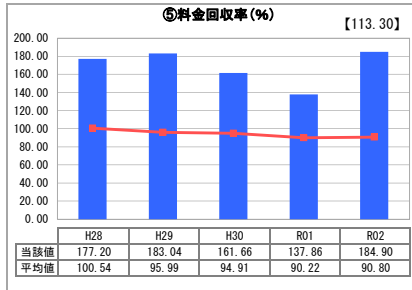
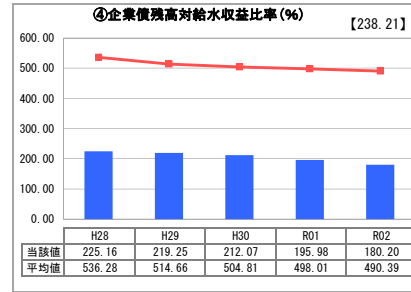
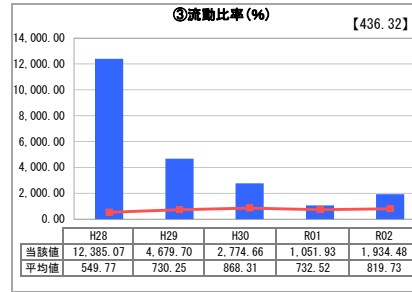
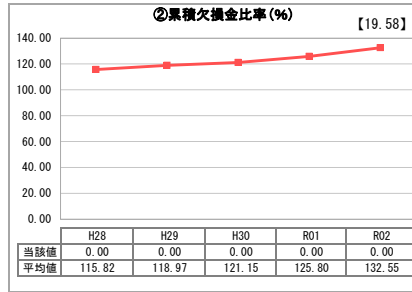
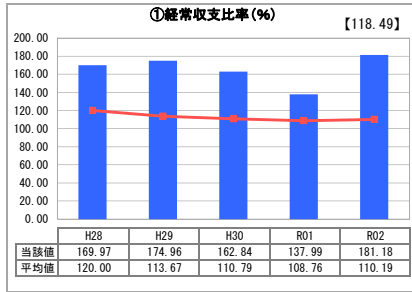
「④企業債残高対給水収益比率」は類似団体や全国平均よりかなり低くなっており、引き続き企業債残高の抑制に努めていく必要があります。

「⑥給水原価」については、全国平均より高い数値になっていますが、類似団体より低い数値になっており、効率的な経営ができていると考えられます。

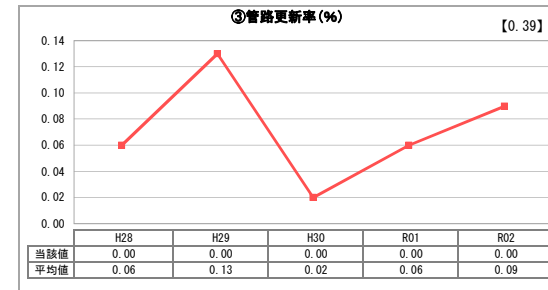
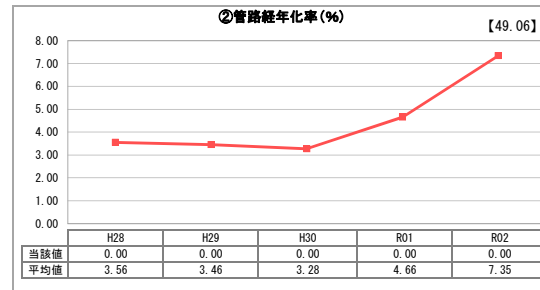
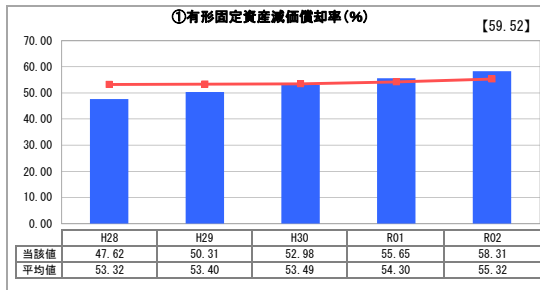
「⑦施設利用率」については、類似団体や全国平均を下回っており、今後も一日平均配水量の増加が望めない場合には、施設規模の見直しを検討する必要があります。

「⑧契約率」については、令和元年度以降100%であり、適正な状況と考えられます。

### 1. 経営の健全性・効率性



### 2. 老朽化の状況



## 全体総括

現在のところ経営の健全性や効率性は確保されているものと考え、引き続き安定した経営に取り組む必要があります。